

主人公



祝卒業おめでとう号 文責 久保茂樹

安堵中学校 校長通信

2021（令和3）年3月16日（火）

出会いと別れが人を成長させる



3年生諸君！ありがとう、そしてさようなら！

本日、晴れの門出を迎える3年生諸君。ご卒業誠におめでとうございます。とうとうこの日が来てしまいましたね。コロナ禍でほとんど話す機会もなかったけど、寂しくないかと言われれば嘘になります……。

「花に嵐のたとえもあるぞ、さよならだけが人生だ」

これは、井伏鱒二（いぶせますじ「山椒魚」で有名な小説家）が漢詩を和訳したものです。私は、最初この言葉を聞いて「なんて割り切ったクールな考え方だ……こうは考えられないな～」とっていました。しかし、この言葉には前段がありました。

「この杯さかずきを受けてくれ、どうか、なみなみ注がしておくれ……」というものでした。つまり、「今こうしてあなたと向き合っている時間を共に楽しもう、そして大切にしよう、別れは必ずやってくるものだから……」と作者は読む人に訴えたかったのです。

先生方、先輩、後輩たちとともに過ごしてきた思い出の学校生活。この3年の間にも、たくさんの出会いと別れがあったと思います。

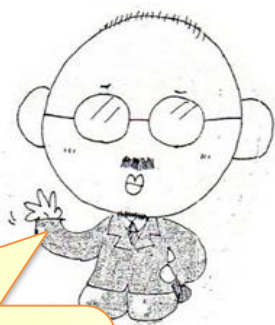
「どうしてこんなに上手くいかないんだろう」と思った時、自分だけでなく、みんな同じような思いをしているのだと想像し、耐え忍んだ時もあったでしょう。人生には出会と別れが必ずあり…また 楽しいことや悲しいこともある…でも、そうしたつらい別れや苦い出来事を通して私たちは成長できるのです。

まさに

「出会いと別れが人を成長させ、強くする」のです。

今日、安堵中学校の校長としてみなさんに

卒業証書を渡せることを誇りに思います。



大切な思い出をありがとう！君たちの頑張りが学校の支えでした。最高の卒業式にしましょう！

